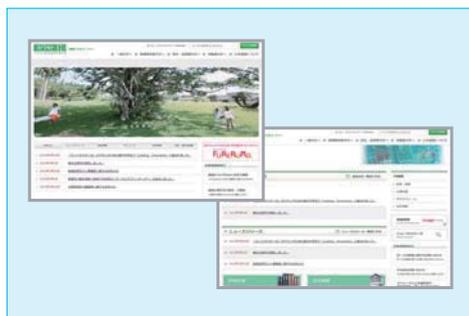


新ブランド「FURERUMO」サイトを開設しました。



<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>

<http://furerumo.jp>



第83期報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

P1 トップメッセージ
 P5 トピックス
 P7 財務諸表
 P9 会社概要
 P10 株式情報

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
 株式会社大阪証券取引所 市場第二部
 証券コード 3604

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
----- 未払配当金のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 (特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

公告方法 電子公告 (<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

支払通知書に関してご留意いただきたい事項

「支払通知書」は、相続特別措置法の規定に基づき作成するものであり、株主さまが確定申告を行う際に必要となる場合があります。

当社がお支払いする配当金については、株主さまにお送りしております「配当金計算書」を「支払通知書」としてご利用いただくことができます。(但し、株式数比例配分方式を選択された場合については、お取扱いが異なりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。ご不明な点については、みずほ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

川本産業株式会社

〒540-0022 大阪市中央区糸屋町二丁目4番1号 TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。



川本産業株式会社

証券コード 3604



代表取締役社長
川本 武

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて当社第83期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

Q 当期の業績はいかがだったでしょうか

A 厳しい環境のなか、高付加価値製品の販売強化により、増収増益となりました

当期におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代を機に、円高是正の影響や株価の上昇によって、景気回復への期待は高まりつつあるものの、中国経済の成長鈍化や長引く欧州金融不安等の不安定な国際経済情勢の影響もあり、景気の先行き不透明感は払拭されていません。当医療衛生材料業界におきましても、国の医療費抑制の動きもあり、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下で当社の当期の業績は、売上高299億62百万円(前期比0.9%増加)、営業利益4億32百万円(同2.5%増加)、経常利益4億79百万円(同32.9%増加)、当期純利益2億63百万円(同52.3%増加)で増収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、当期より販売管理体制を変更したことに伴い、前期の「メディカル部門国内向け」と「アパレル部門」を統合して「国内向け」セグメントとし、「メディカル部門海外向け」を「海外向け」に改称いたしました。これに伴い、前期比較につきましては、変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

(国内向け)

製品売上高では、衛生材料において医療機関の学識経験者との共同開発による手術関連の高付加価値製品が増加いたしました。医療用品では重点販売製品の販売を一層強化したことで、「感染予防関連製品」及び「セットパック製品」が増加し、介護用品では「口腔ケア用品」が継続して増加しております。一方アパレル製品では、市場規模の縮小が続く「ねまき」は減少しましたが、ベビーブランド「FURERUMO」の立ち上げや販売店との関係強化に注力した結果「ベビー用衣料品」は増加いたしました。

商品売上高では、医療用品は一部の収益性の低い商品の販売を抑えたことでやや減少しましたが、販売管理体制を変更し、メディカル製品販売部門とアパレル製品販売部門の連携強化を図ったこともあって大手量販店向け販売が好調に推移し育児用品が増加いたしました。

これらの結果、売上高は291億88百万円(同1.7%増加)となりました。

(海外向け)

国内製の高付加価値の衛生材料や医療用製品に海外からの調達品を加えた多種にわたる製品群を、幅広い市場に対して積極的に販売いたしました。しかし、当期が総じて円高で推移したことや中近東市場における医療機器輸入制度の改正による影響が継続しており、売上高は7億73百万円(同22.7%減少)となりました。

利益面では、製品の売上総利益率が改善したことにより売上総利益率は19.4%と前期よりわずかに上昇いたしました。

経費面では、人件費は減少したものの運賃関連経費が増加して、販売費及び一般管理費は53億81百万円(同1.2%増加)となりました。

営業外収益では、当期末の為替相場が前期末に対して円安となったこと及び過年度に評価損を認識した為替予約を実行し、為替予約残高が減少したため、デリバティ

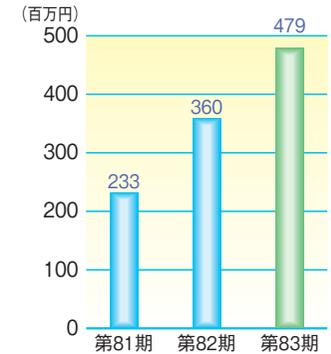
売上高



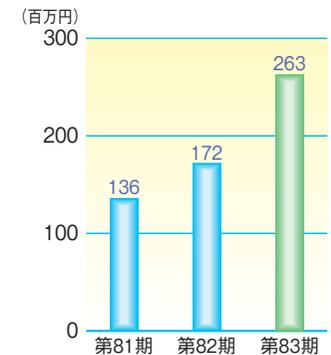
売上総利益・売上総利益率



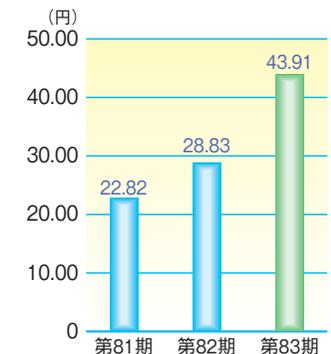
経常利益



当期純利益



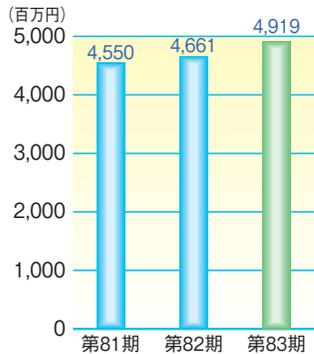
1株当たり当期純利益



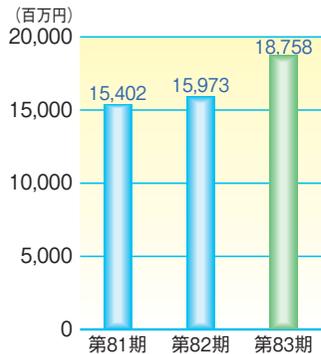
■自己資本当期純利益率



■純資産



■総資産



ブ評価益（為替予約評価益）が1億43百万円（同71.4%増加）発生いたしました。

営業外費用では、「支払利息」及び「債権売却損」の総額削減を目的として債権の割引減少に努めた結果、合計額は81百万円（同22.0%減少）となりました。また、当期末にかけて円安傾向となったものの、当期が総じて円高で推移したことが影響して為替差損が92百万円（同2.9%減少）発生いたしました。

Q 次期の展望と今後の見通しについて
お話しください

A 高付加価値製品の開発を一層進めるとともに、生産面・販売面・物流面それぞれで強化・効率化を推進してまいります

次期の見通しにつきましては、国際経済の先行き不透明感は継続するものと思われ、円安による輸入品の調達価格上昇の要因も加わり、厳しい経営環境が続くものと思われれます。

このような状況下で当社は、開発面では、医療機器製造における専門知識とマーケティング力を最大限に活用して、医療機関の学識経験者との共同開発を一層積極的に推進することで、専門性及び独自性のある製品の開発・製造に注力してまいります。また、ドラッグストアや介護施設に向けては、「口腔ケア用品」等の特徴ある介護用品を始めとして、多分野にわたるニーズに沿った安心で安全な製品の開発に一層努めてまいります。

生産面では、大阪工場・埼玉工場及び中国の協力工場の3拠点体制により、拠点ごとの役割分担を明確にして、効率的で高品質な生産体制を確立してまいります。

販売面では、横浜出張所を平成25年4月に新設して首都圏の体制強化をはかると共に、全国の支店・営業所の担当エリア分けを、販売体制の強化・効率化を目的として改善してまいります。

物流面では、物流体制の集約化による効率改善に積極

的に取り組んでまいります。

しかし、円安による輸入品の調達価格上昇と物流機能のアウトソーシングによる一時的な物流関連経費増加が見込まれており、次期の業績につきましては、売上高306億50百万円（前期比2.3%増加）、営業利益2億32百万円（同46.4%減少）、経常利益2億円（同58.3%減少）、当期純利益1億18百万円（同55.2%減少）の増収減益を予想しております。

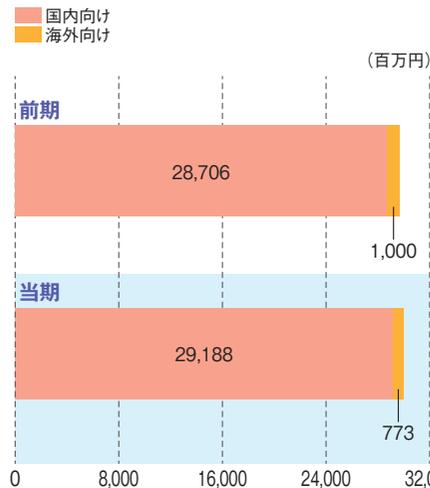
（注）予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



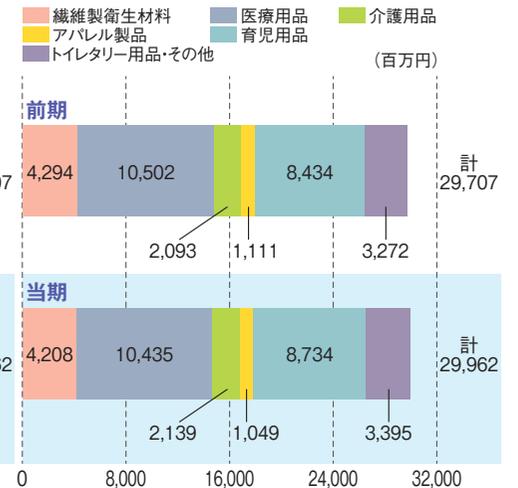
多くの医療機関で採用して頂いている鏡視下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」

部門別・品目別の売上高

■セグメント別売上高



■品目別売上高



* 国内向け…当期より、「メディカル部門国内向け」と「アパレル部門」を統合して、セグメント名を「国内向け」に改称いたしました。
海外向け…当期より、セグメント名を「メディカル部門海外向け」から「海外向け」に改称いたしました。

ふ・れ・る・も
2012年誕生 FURERUMO®

FURERUMOは「"ふれる"をもっと、ハッピーに」をコンセプトに、赤ちゃんの肌をとりまく環境(肌環境)と向き合って開発したブランドです。

.....FURERUMO製品ラインアップ.....

リバーシブル布おむつ

サラサラ面とじつとり面を選べる。



布おむつカバー

「楽しい」も「かわいい」も「かっこいい」も、いろいろ選べる。



やわらかふきとりガーゼ

おしりふきに、お肌のケアに。ぬらしても、そのままでも使えて便利。



ベビー・マタニティー向けイベントに出展しています

- 2012年7月 マタニティーカーニバル2012大阪
- 11月 たまひよファミリーパーク2012横浜
- 2013年3月 たまひよファミリーパーク2013大阪
- 4月 マタニティー&ベビーフェスタ2013横浜



たまひよファミリーパーク2013大阪 川本産業「FURERUMO」ブース

多くの方にブースへお越しいただきました。



ベビー雑誌で紹介されました

「たまごくらぶ」・「赤すく」などのベビー雑誌に掲載されました。



●たまごくらぶ●

腹腔鏡下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」がオランダの学会で「Leading Innovation」に選ばれました。

内視鏡手術で有名なセント・アントニウス病院のスマッツ医師のプロモートにより「エンドラクター®」が、オランダの消化器外科学会において、2012年度の革新的な医療機器として「Leading Innovation」に選出されました。

今回の選出に伴い、本年3月21日に開催されたオランダ消化器外科学会総会(NVGIC)にて製品を紹介する機会が与えられスマッツ医師による講演を開催いたしました。



腹腔鏡下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」



セント・アントニウス病院 スマッツ医師

新製品 鏡視下手術用ガーゼ「GGアブソーテック™」についてランチョンセミナーを共催いたしました。

日時：平成24年12月8日(土)
「第25回 日本内視鏡外科学会総会」
ランチョンセミナー
(共催：オリンパス メディカルシステムズ株式会社)
テーマ：「~クリアな画像で行う~
最新の腹腔鏡下上部消化管外科手術」



大阪赤十字病院 金谷誠一郎先生 公立昭和病院 上西紀夫先生 京都大学病院 小濱和貴先生

金谷先生(共同開発者)及び小濱先生に発表を、上西先生に司会をお願いいたしました。ご来場された多くの先生方より画期的な製品であるとの高い評価を頂きました。

■概要

鏡視下手術でのハレーションを低減する色付きのガーゼです。

■特長

- ・緑色に着色しているので、ハレーションが起きにくく、クリアな視界で手術が可能です。
- ・トロカールからの挿入・取り出しや体腔内での操作が容易な三角形です。
- ・緑色に着色しているので、血液を吸液しても臓器との判別が容易です。



資産の部

① 流動資産
流動資産は、139億円の前期末に対して28億74百万円増加いたしました。

「現金及び預金」が7億34百万円減少、「受取手形」・「売掛金」が5億34百万円増加、「たな卸資産」が1億61百万円増加、「未収入金」では支払利息及び債権売却損の総額削減を目的にファクタリング入金の現金化時期を遅らせたことでの残高増により29億3百万円増加したことが主な要因です。

② 固定資産
固定資産は、48億57百万円の前期末に対して89百万円減少いたしました。

有形固定資産で、「建物」・「構築物」・「機械及び装置」が1億32百万円減少、「リース資産」が50百万円減少、投資その他の資産で、「投資有価証券」が1億40百万円増加、「破産更生債権等」が38百万円減少したことが主な要因です。

負債の部

③ 流動負債
流動負債は、94億92百万円の前期末に対して16億5百万円増加いたしました。

「支払手形」・「買掛金」が1億49百万円増加、「短期借入金」・「1年内返済予定の長期借入金」は債権の割引減少に対応するための借入金増により14億16百万円増加、「売上割引当金」が23百万円増加したことが主な要因です。

④ 固定負債
固定負債は、43億45百万円の前期末に対して9億20百万円増加いたしました。

「長期借入金」は短期借入金増加と同等の要因により11億6百万円増加、「リース債務」が49百万円減少、「為替予約」が1億43百万円減少したことが主な要因です。

貸借対照表

(単位:千円)

	平成25年3月期 (平成25年3月31日現在)	平成24年3月期 (平成24年3月31日現在)
① 流動資産	13,900,845	11,026,746
② 固定資産	4,857,403	4,947,007
有形固定資産	3,584,997	3,761,580
無形固定資産	51,101	50,303
投資その他の資産	1,221,303	1,135,123
資産合計	18,758,248	15,973,753
③ 流動負債	9,492,560	7,887,161
④ 固定負債	4,345,980	3,425,507
負債合計	13,838,541	11,312,668
株主資本	4,739,876	4,560,643
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,667,945	2,488,712
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金	2,581,845	2,402,612
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,576,845	1,397,612
自己株式	△3,666	△3,666
評価・換算差額等	179,830	100,441
その他有価証券評価差額金	179,830	100,441
純資産合計	4,919,707	4,661,084
負債及び純資産合計	18,758,248	15,973,753

損益計算書

(単位:千円)

	平成25年3月期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	平成24年3月期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	29,962,648	29,707,507
売上原価	24,148,922	23,968,802
売上総利益	5,813,726	5,738,704
販売費及び一般管理費	5,381,088	5,316,794
営業利益	432,638	421,910
営業外収益	227,519	152,679
営業外費用	181,052	213,958
経常利益	479,105	360,631
特別利益	57	13,112
特別損失	11,499	5,193
税引前当期純利益	467,663	368,550
法人税、住民税及び事業税	215,450	157,897
法人税等調整額	△10,905	37,837
当期純利益	263,118	172,815

売上高経常利益率
売上高当期純利益率



株主資本等変動計算書

平成25年3月期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 配当引当積立金 別途積立金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,397,612	2,488,712	△3,666	4,560,643
当期変動額										
剰余金の配当							△83,885	△83,885		△83,885
当期純利益							263,118	263,118		263,118
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計							179,233	179,233		179,233
当期末残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,576,845	2,667,945	△3,666	4,739,876

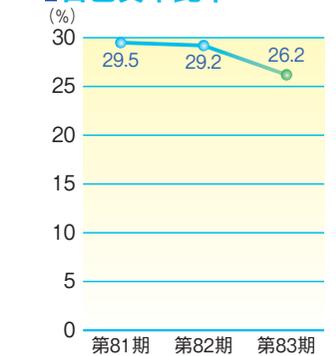
	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	100,441	100,441	4,661,084
当期変動額			
剰余金の配当			△83,885
当期純利益			263,118
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	79,389	79,389	79,389
当期変動額合計	79,389	79,389	258,622
当期末残高	179,830	179,830	4,919,707

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	平成25年3月期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	平成24年3月期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,006,195	△3,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	374,315	△52,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,378,668	597,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,306	△1,078
現金及び現金同等物の増減額	△242,905	540,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,791	907,108
現金及び現金同等物の期末残高	1,204,886	1,447,791

自己資本比率



会社概要 (平成25年3月31日現在)

社名 川本産業株式会社
 設立 昭和6年1月
 資本金 883,000,000円
 従業員数 585名 (内、契約雇用者数95名)

役員 (平成25年6月26日現在)

代表取締役社長 川本 武雄
 ※代表取締役専務 佐々木 功年
 ※取締役 安藤 雄治
 ※取締役 岡田 茂治
 取締役相談役 向井 茂史
 常勤監査役 川本 新史
 常勤監査役 横田 清彦
 監査役 日上 俊明
 監査役 親泊 伸明

(注) 監査役日上俊彦、親泊伸明両氏は社外監査役であります。
 ※印の取締役は執行役員を兼務しております。

執行役員 (平成25年6月26日現在)

執行役員 川本 暁生
 執行役員 大谷 純司
 執行役員 水上 博司

事業所

本社 〒540-0022
 大阪市中央区糸屋町2-4-1
 TEL.06-6943-8951

- 支店
- 東京支店 東京都杉並区阿佐谷北6-1-6
- 営業所
- 仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4F
 - 千葉営業所 千葉県市川市大和田4-19-2
 - 埼玉営業所 埼玉県加須市花崎5-31-1
 - 日本橋営業所 東京都中央区東日本橋3-7-19 友泉東日本橋駅前ビル4F
 - 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12
 - 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 - 堺営業所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8
 - 南大阪第1・第2営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 神戸営業所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 - 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2
 - 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-8 ヒロショービル2F

- 出張所
- 札幌出張所 北海道札幌市東区北24条東15-4-20 日弘ビル4F
 - 横浜出張所 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央11番地3 ウェルネスセンタープラザ南ビル2階A-2号室
 - 高松出張所 香川県高松市多肥下町21-1 西香ハウス1F

- 駐在所
- 鹿児島駐在所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1

- 工場
- 大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 埼玉工場 埼玉県加須市花崎5-31-2



株式の状況

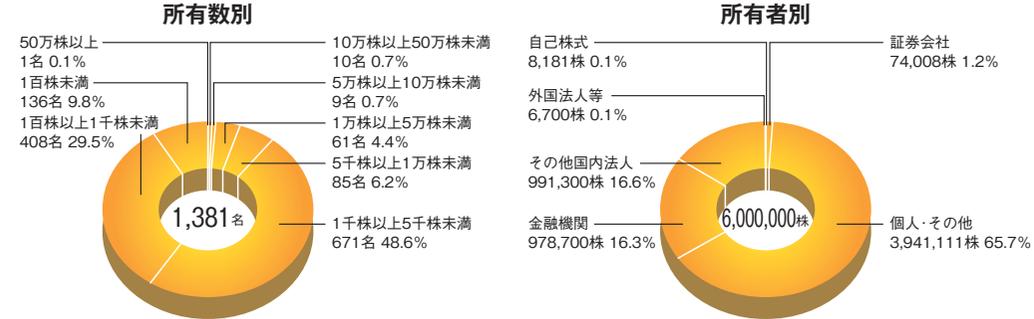
発行可能株式総数 16,000,000株
 発行済株式の総数 6,000,000株
 株主数 1,381名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
巴株式会社	600	10.0
川本社員持株会	416	6.9
川本 武	296	4.9
カワモト取引先持株会	264	4.4
株式会社みずほ銀行	249	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.2
伊藤忠商事株式会社	196	3.3
株式会社りそな銀行	175	2.9
川本 洋之助	170	2.9
第一生命保険株式会社	100	1.7
株式会社南日本銀行	100	1.7

※1. 持株比率は自己株式(8,181株)を控除して計算しております。
 ※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

株主分布状況



株価および売買高の推移

